渡り鳥の保護と湿地保全の拠点

漫湖水鳥・湿地センターが完成

Manko Waterbird and Wetland Center ●漫湖水鳥・湿地センター ☎840-5121

漫湖の水鳥観察の拠点となる漫湖水鳥・湿地センター

世界的に重要な渡り鳥の中継地、越冬地である漫湖は、1999年11月、南日本では初、国内では11番目のラムサール条約の登録湿地になりました。その漫湖に５月16日、水鳥保護と湿地保全を推進する拠点として「漫湖水鳥・湿地センター」（環境省　沖縄県・那覇市・豊見城市）がオープンしました。施設内には展示室、多目的ルーム、観察展望室、図書コーナー、レクチャールーム、検索データベースなどがあり、水鳥と湿地と私たちをつなぐ窓口となります。

- 〒901-0241　沖縄県豊見城市字豊見城西原982
- 開館時間：午前９時～午後５時
- 休　館　日：毎週月曜日（祝日の場合は翌日）、年末年始（12/29～1/3）
- 入　館　料：無料

＊団体利用（15人以上）の場合は事前にお問合わせの上，お申し込み下さい。

お問い合わせ　環境保全課　☎951-3229

漫湖の自然ごよみ

亜熱帯の琉球列島に位置する沖縄は四季の変化が日本列島ほどはっきりはしていない。しかし、水鳥やカニ等の生きものたちは、毎年自分たちの変わらないリズムでここ漫湖の干潟という素敵な舞台にあらわれて、また姿を消してゆく。あなたも漫湖の生きものたちの季節に合わせてなんども会いに来ませんか？

１月	越冬するシギチドリ類がピークに達する。
２月	ハマシギなど小型のシギ、チドリ類が北へ帰る。アオサギが繁殖羽、足の色が赤くなる。
３月	メヒルギの胎生種子が無数にたれ下がる。
４月	シギ、チドリ類の北上のピーク。トビハゼ、シオマネキ類の繁殖期にはハサミをふるう求愛行動が見られる。鳥たち鮮やかな夏羽へ衣替え。
５月	渡り鳥の大部分が北上し、さびしくなる。夏鳥のコアジサシの魚捕りダイビングが見られる。
６月	ナハキハギ開花（絶滅危惧種）。バンの幼鳥がよちよち歩き。ゴイサギが繁殖羽。
７月	シギ、チドリ類の秋の渡りの第一陣渡来（下旬）。
８月	キアシシギの渡来がピーク。チュウシャクシギの渡来。
９月	漫湖で越冬するほとんどのシギ、チドリ類が渡来。ミサゴが渡来し、華麗で豪快な魚捕りショーが４月頃まで見られる。旅鳥のクロハラアジサシの渡来。
10月	ハマシギ、トウネン、シロチドリの渡来。サシバが渡る。ハクセキレイの渡来。
11月	クロツラヘラサギの渡来（～４月）　ズグロカモメ、ユリカモメなどの渡来（～２月）　カモの仲間の渡来（オナガガモなど）
12月	越冬するシギ、チドリ類の中でもムナグロ、ハマシギなどが目立つ。ハヤブサが渡来し、シギチドリ類を狩る（～３月）。

●見られる時期や月については、目安であり、その年により変動があります。

市のごみ量（年度累計比較）

平成15年4月末現在（4月分）

	総ごみ量（ｔ）	比率（％）
Ｈ10年4月	10,359	100％
Ｈ15年4月	8,022	77.4％
差	-2,337	-22.6％

注：那覇市の資源ごみを除く量（南風原町含まず）
※Ｈ10年度を基準にＨ16年度に25％の減量を目指します。

不法投棄通報システム がスタートしました

郵便局と市が協定締結

多発する不法投棄に対応するため、このほど那覇市と郵便局との間で不法投棄にかかわる情報提供協定が平成15年４月23日締結されました。調印式には、翁長市長・加藤那覇中央郵便局長・下地那覇東郵便局長・次呂久首里郵便局長が出席。那覇市内の郵便外務職員235人が日頃配達をしながら得る不法投棄の情報を那覇市都市施設管理センター（☎951-3235）に提供することになりました。

平成14年４月から平成15年３月までに那覇市に寄せられた不法投棄に関わる依頼件数は１５００件以上に上り、空地や公園・道路など様々な場所に不法投棄がみられます。

那覇市都市施設管理センターに寄せられた郵便局からの情報は、各所管課に通知され、公園や道路などの不法投棄が迅速に処理されることにより市の環境改善に貢献します。

不法投棄に関するお問い合わせ
クリーン推進課　☎889-3092

環境講演会のお知らせ

市では「那覇市環境基本条例」の制定に向けた「環境講演会」を開催いたします。
市民のみなさん、どうぞお誘いあわせの上ご来場下さい（入場無料）。

日時　6月19日（木）午後6時30分～午後8時30分
場所　パレット市民劇場（パレットくもじ９階）
演題　「モイヤー先生　地球を語る」
講師　ジャック．T．モイヤー（Jack. T. Moyer）
プロフィール
1929年アメリカ合衆国・カンザス州生まれ。ニューヨーク・コルゲート大学卒業、ミシガン大学にて魚類学修士号取得。東京大学にて魚の繁殖生態研究により博士号取得。1952年、三宅島沖の世界でも貴重な海鳥・カンムリウミスズメを救うため、当時の米トルーマン大統領側近に訴え、米軍演習を中止させるなど、世界的に活躍されている海洋生物学者。三宅島ふれあいアカコッコ館、フィリピン・ネグロス島・バイス市環境顧問などを務める。
主な著書「モイヤー先生、三宅島で暮らす」「子どもは海で元気になる」「森と海からの贈り物」「生きもの、みんな友だち」「サンゴの海」「イルカの知られざる世界」

お問い合わせ　環境政策課　☎951-3231

生ごみ処理機の助成金申請受付中

市では生ごみ処理機器を購入する市民に助成金を交付しています。

○助成金交付額
本体価格の１／２（上限３万円）
○手続き方法
購入前に、環境政策課に助成金交付申請書を提出
○手続きに必要なもの
①印鑑（認め印）
②振込先預金通帳（郵便局以外）
③公的機関発行の現住所確認書（免許証等）

お問い合わせ　新都心銘苅庁舎4F
環境政策課　☎951-3231

児童館での障害児童受け入れについて

養護学校に通っている児童を、夏休み期間中、児童館でお預かりし、保護者の仕事と育児の両立を支援し、地域の児童との交流を図ります。

応募対象　現在働いている保護者のお子さんで、養護学校に通っている児童。
利用期間　夏休み期間中（月曜日～土曜日）
利用時間　午前10時～午後6時の間
受け入れ場所　那覇市児童館
申し込み期間　6月2日（月）～6月20日（金）
申し込み場所　こども課育成係（本庁2階）
応募方法　こども課備え付けの用紙に、記入のうえ提出してください。
＊利用希望者が多数の場合は、利用時間・曜日等の調整をしていただくこともあります。
＊現在就労中でない保護者のみなさまは、お近くの児童館を保護者同伴でご利用ください。

お問い合わせ こども課育成係（本庁2階）☎861-6903

ラジオ「情報Pack78 なは Nãfa」月～金／8時・18時　土、日／正午（亜熱帯ＦＭなは／78.0MHz）